4-264-193-**01**(1)

SONY

ステレオヘッドホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-XB1000

⚠警告

禁止

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

⚠警告

禁止

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、ヘッドホンは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

⚠注意

禁止

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- このヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- ヘッドホンを使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に相談してください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- このヘッドホンは、密閉度を高めていますので、強く押された場合、鼓膜などを痛める危険があります。他の人と強く接触したり、ボールなどが飛んでくるような場所では使用しないでください。また、ヘッドホンを耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

主な特長

- 新開発大口径 70 mm ドライバーユニット
  ダイナミック型として業界最大 *[1] の口径を誇る、新開発 70 mm ドライバーユニットを搭載。同時に耐振幅特性、耐気圧特性を確保し、ハイコンプライアンス化により、包み込まれるような重低音再生と、圧倒的なスケール感を実現。さらに、高磁力ネオジウムマグネット（360 kJ/m^3）の採用により、パワフルな音を再生。
  *[1] 2010 年 12 月ソニー調べ
- ダイレクトバイブストラクチャー
  ドライバーユニットから鼓膜までの気密を高めることにより、重低音域のグルーヴ感を、ダイレクトにあますことなく伝達
- キングサイズイヤークッション採用
  極厚の低反撥ウレタンフォームと、伸縮性の高いレザーの立体縫製により、沈み込むような快適な装着感と、高い気密性を確保
- 大入力にも余裕で対応の高耐入力 3,000 mW を実現した OFC ボイスコイルを採用
- かさばらないフラットコード採用

主な仕様

形式：密閉（背面開放）ダイナミック型（耳覆い型）/ ドライバーユニット：70 mm、ドーム型（OFC ボイスコイル採用）/ 最大入力：3,000 mW（IEC*[2]）/ インピーダンス：24 Ω（1 kHzにて）/ 音圧感度：106 dB/mW / 再生周波数帯域：2 ～ 30,000 Hz / コード：約2.0 m（Y型、フラット）/ プラグ：金メッキステレオミニプラグ / 質量：約375 g（コード含まず）

付属品

金メッキプラグアダプター（ステレオ標準プラグ↔ステレオミニジャック）(1) / 取扱説明書 (1) / 保証書 (1)

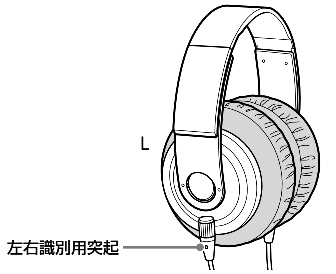
*[2] IEC（国際電気標準会議）規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

使いかた

Rの印のついた方を右耳に、Lの印のついた方を左耳につけてください。

L印のついた方には左右識別用の突起があります。



取り扱い上のご注意

- このヘッドホンは、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。とくに、プラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- イヤークッションは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- イヤークッションは縫製のため、縫い目やシワは 1 つずつ異なります。
- 本製品はハウジングに音響調整孔が左右各 2 か所ずつあります。性能を維持するために、この孔をテープなどで意図的にふさがないでください。

イヤークッションは消耗品です。破損した場合は、お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから
http://www.sony.co.jp/avp-regi/

携帯電話から
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話･･ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話･･ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1